

# 【2026 年度認定こども園ひかりの子事業計画】

## 1 理念の実現のために

この地域に遣わされるキリスト教保育施設として、子どもの育ちの中で幼子に神さまの愛を伝え、愛され受け入れられる存在であることを知ることがこれからの人生の基礎を培う大切な時期であるとの認識を全ての教職員が理解し、その理念の実現のために一人一人が仕事に努めることができるよう、園内はもちろん地域に保育の場を広げ、環境による保育を推進していく。そのため、キリスト教保育の充実、教育・保育目標に基づく保育の質の向上、教職員にとって働きやすい環境にすることを重点におき、以下のように 2026 年度事業計画を策定する。

## 2 計画

### 2-1 運営体制について

#### ・キリスト教保育の充実

キリスト教保育を行う施設で働く者として関係教会の主日礼拝出席を重んじる。月の聖句を園内研修で積極的に学び、子どもたちと共に暗唱し保育にあたる。日々のお祈りと賛美を通して目に見えないものを大切にする心を育てる。

#### ・教職員の休憩の質向上と業務負担軽減の取り組み

処遇改善Ⅱの職務に各プロジェクトの内容を統括させ 3 年目となり、時間の確保と負担軽減に繋がったと思うがもっと改善を図っていく。すべての行事においての提案書等をマニュアル化し、業務負担軽減に繋がるようにする。質の良い休憩時間がよき働きにも繋がるように教職員休憩室の充実を図る。

#### ・職員の資質向上の取り組み

保育の基本となるキリスト教保育関係の研修や園内外などの研修に積極的に参加し、様々な専門性を保育に反映させる。自ら課題をもって学びを深められるよう自ら研修を探して受け、保育の質と職員の資質向上に繋がるようにする。職員会議での各クラスの子どもの様子や取組を発表し、互いに褒め、認めあうことを継続し、自信に繋がるよう働きかける。

#### ・子育て支援の充実

認定こども園の特質を活かし、地域のニーズに根ざしたより現実的でより身近な子育て支援のため、「子育て支援施設 Waters of Rest」をオープンする。この地域においてのひかりの子ならではの独自性のある子育て支援を発信する。また、フリースクール「こといろ」の不登校の児童（生徒）の心身の成長を支える「居場所」としての働きを継続する。継続的な支援のあり方と独自性を見出す。

#### ・アガペ保育園との連携の充実

保育内容、保育体制、あそび環境において互いに刺激し合いながら保育の質を高めていく。

## 2-2 保育内容について

- ・子どものための保育体制と内容を試し、「保育と保育体制の安定」を図る。
- ・「コーナー保育」「園庭や園外での遊び」「異年齢保育」の充実  
子どもたちが自ら環境に働きかけ、主体的な遊びや異年齢交流の中で互いの個性や違いを尊重し、共に育ちあう保育の充実を図る。
- ・「運動機能発達」を促す環境や遊び、生活、活動を保育に積極的に取り入れていく。
- ・「eメッセージ、おがーるシステム、ルクミー」の効率化を図る。  
子どもたちの最善の利益の観点から効率よく使い、簡素化・ICT化を具体的に図っていく。
- ・「ドキュメンテーション」の充実  
保育を振り返り、子どもの見方や様々な視点を共有していき、子どもの発達、今の育ち、大切に保育しているところを分かりやすく、可視化して発信していく。
- ・園発信の幼小連携を図る。近隣の小学校の先生方を招き、情報交換などを行う。

## 2-3 園環境の整備

- ・遊具の入れ替えを計画的に行う。
- ・園全体の電話機と未満児棟のエアコンを入れ替える。